

日刊 發行所 東京 市 本町一丁目 電話 六三〇番



刊夕日一十月九

定額 一月五元 三月十三元 半年二十五元 一年五十元

學生の押賣 新田目樂天居士 昨年は夏期休暇を利用して...

停車へ一時預りにして参りましたと、實際の不注意な...



九月十日替り 小阪派作、小島陽三、潮みどり主演 活劇 夜の騎士 卷全

治淋 偉効薬の現出 新薬 ラウタール 従来の治淋薬は...

吉田眼科醫院 入院應需 上田外科醫院 電話 一二九番

外科 門 專 入院應需 上田外科醫院 電話 一二九番

祖元支那料理 喜來軒 近藤喜多治 平町紺屋町(電五四五) 女給三名至急募集

自轉車 乗用者へ 音福 購入の便法あり エベニス(ラ) キヤビネット

近日常設 博愛病院 平町田町横丁(横内耳鼻科醫院跡)

赤心堂病院 外科一般 耳鼻咽喉科 女性病科 X光線科

學生服 特價提供 大...八圓 中...七圓半 小...七圓

原齒科醫院 院長 原精一 副院長 石田仁

チキン ソース 粉 乾物煙草 海老屋商店 平町電話二三五番

胃腸 科 專 門 院 部 淋病 婦人病 梅毒 專門 院 部

美術表具 玉成堂 平町田町 元平陽女學校跡

縣社八幡神社に

必勝の祈願をこめ

あすを待つ警中健兒 參加中等校は十五

縣下中等校の体育大會陸上競技は平町の縣立警城中學校庭で明日十二日午前八時から舉行される參加校は、福島師範、安中、警中、福中、會中、相中、喜多方、保原、白河、双葉、石川の各中學、蠶業學校、岩瀬農校、會津工業、福島商業、の十五校であるが各校共必勝を期して連日猛練習をしたので勝敗の結果は容易に豫測を許さず縣下のファンを熱狂せしめてゐるが當日の呼び物である三マイル競走はトラックを一周して正門を出で八幡小路から胡摩澤、北目を経て平窪に至り引き返すものである、因に警中には全校生徒が昨日縣社八幡神社に必勝の祈願をこめた

近く竣工す

磐城セメントの

石城郡四倉町磐城セメント株式會社四倉工業所に於ては降灰の被害を一掃すべく降灰防止機を設置する事になつたが既に部分品は到着したので本月中旬頃より取り付けをなす下向までには竣工の豫定である此降灰機は十二萬五千餘圓で取付けを終るには十五萬圓を要するとの事だがこの防止を設置すれば從來の如く降灰による被害は一掃される事であらうと

東京大相撲

初日好取組

東京大相撲常の花一行の平町興業は愈々明日から晴天二日間南裡埋立地に櫓太鼓の音勇ましく肉弾相うつ大壯觀を呈する筈にて各方面よりの團體申込み等多數あり前景氣頗る緊張して賑々しく初日の主なる好取組は左記の如くである

(松泉)秀の海鏡 岩碗
(諏訪錦)岩木山(玉)碗

雀群の驅除には

威銃よりカスミ網

捕獲する方法が良いぞ 平署の許可方針

毎年今頃になると稲作を荒す雀の害に對し空砲を以て威嚇する威銃驅除の出願が警察署に殺到し多大忙を極める程であるが從來の成績から見ると威銃に依る方法は殆ど効果がなく却て之れを

密獵の 方面に悪用

する者などもある様な次第で平署では種々研究の結果威銃の許可を成るべく差控へ其の代りに他の方法を講じて驅除せしむる方針に變更した右につき櫻村平署長は語る『威銃は絶体に許可せぬのではないが只單に雀を威嚇するばかりで諸所方々を飛廻つて荒すから少し

白井家迷惑

白井専務の談

去る九月十日福島市發行の某新聞が『白井遠平翁腦溢血で卒倒す』たる二段抜きの記事をかかげて同翁が重態であるかの様な報導をしてゐるが右は全く事實無根の記事で目下翁は平常と



庭家欄

おいしい味噌汁

味噌汁は日本獨特の御料理ですが餘りありふれてゐるのでそれだけに顧みられぬ傾向があります、然し大

亭主の虐待で

逃げた女房

東京府下代々幡町喜司屋吉田三藏内縁の妻高木ミチは亭主の虐待に堪えかね十一日無断家出して平署に飛び込み何んとか身の振り方を頼むと願出た爲め保護を加へて居る

江名灣頭の賑ひ

石城郡江名町小學校では去る八日午前九時より同町築港内に於て水上運動會を開催したが同日は適々各縣參事會員が豊間村回春園に出張參觀ありさしにも廣き築港の周圍は全く人を以て埋められた定刻校長開會を宣し各種競技三十數回に亘り午後三時閉會せよ慰勞會を江名濱漁業組合樓上に於て開催本與一郎氏開辭を述べ宮城縣水産學校校長本縣水産試験場長の祝辭演説同町漁業組合長中田政吉小松金重郎諸氏の希望演説等あり終りて宴に移り同町の紅裙酒間を幹旋し頗る盛會裡に午後六時頃散會した

喜來軒の繁昌

平町の支那料理元祖で通つて居る紺屋町の喜來軒は益々繁昌して店内が雑踏する爲め増築を爲し設備を一新して腕自慢の料理を提供し酒間は可憐な女給數名がとりなす事として評判がよい

天氣

(日二) 曇り小雨

法廷に

骨肉相食む

財産争へ 昨日公判

双葉郡富岡町早川清久氏は同郡木戸村の實弟早川信夫氏を相手取り、清久は青年時代遊蕩兒であつた爲め父儀平は之れを廢嫡し弟信夫を家督相続人とし本年五月儀平が隠居する際財産八萬圓を信夫に相続せしめたのであるが清久は之れを相続する権利がある

と主張し平支部に家督相続回復請求の訴訟を提起した事件は原告側に於て東京仁井田博士、榛村、天野、平町大嶺、安齊各辯護士を代

理人とし被告側では東京鳩山博士、平町門傳、眞木、各辯護士に依頼第一回公判を十日午後一時より白井裁判長係りにて平支部に開廷された、先づ大嶺辯護士より請求理由の説明あり眞木辯護士は是れに答へ鳩山博士は原告側に向つて『請求原因が要領を得て居ない、何を以つて請求の理由となすか』と追られ原告側辯護士打合せの上請求原因の字句を打正する處あり辯論の本舞台に入らずして閉廷、次回は十月十二日と決定した

偽の廣告員

植田署に捕る

平町田町元平電氣企業社大正電販賣外交員高岡武(三)外一名は數日前から植田町

お寺の櫻

まる坊主に

喜多野屋旅館支店に宿泊し新聞社の廣告募集員と稱し毎夜豪遊を極めて居たのを舉動不審と見て植田署に引致取調した處大正電の賣却代金を費消してゐた事を發覺した

募集

文藝其他投稿を募集します

ど木の枝を刻き取られ枯死せんとするの状態にあるので任職が不審に思ひ調査した處目下平町地方に小兒の百日咳が流行し寺院境内にある櫻樹のあま皮が同病の妙薬だと言ふ事が誰言ふもなく廣まつて愛兒のために親達がむき取つたものと判明し任職もとんだ事が流行るものだと苦笑してゐる

平町人事

出生
△銀治町四 當時東京府北雙島郡渡野川町吉田芳藏氏四女ヒサ子
△長橋町二〇 當時石城郡湯本町大和田芳吉氏三女テル子